

# 井伊直孝公の生まれ故郷を多くの人に知って欲しい！

## 中里倶楽部さん

議員が直接話を聞いて市民の本音に迫る「市民インタビュー」。

今回は、中里倶楽部さんにお話を伺いました

**中里倶楽部さんの活動について教えて！**

中里倶楽部は、平成29年に発足し、中里地区の20人で活動しています。

倶楽部を結成する前から、井伊直孝公の生まれ故郷を多くの人に知ってもらいたいという思いや、地域の歴史遺産に誇りをもち、地域づくりに活かせればという思いがありました。そんな中で、2029年に行われる若宮八幡宮の400年祭まであと10年というのをきっかけに、倶楽部を作り活動を始めました。中里に内在している歴史遺産の豊かさを子どもから

大人まで共有していければと思います。活動をしています。

主な活動としては、子どもたちの夏休みの工作教室として「赤備えの兜や甲冑づくり」を開催したり（表紙写真に掲載）、井伊直孝公を広く皆様に知っていただくための「パンフレット」やまんが「井伊直孝物語」、また「直孝まんじゅう」を作成したりしています。また年間を通して、「直孝の産湯の井」や「若宮八幡宮」の視察や歴史散策にきた市民の方々に、会員がおそろいの陣羽織を身につけが이드をしています。



中里倶楽部副会長  
増田俊彦さん

**それぞれの活動について詳しく！**

「井伊の赤牛」と恐れられた直孝公の「赤備えの兜や甲冑づくり」を子どもたちの夏休みの工作教室という形で毎年8月に開講しています。コロナの影響により3年間中止となりましたが、今年は4年ぶりの開催となり、多くの子どもたちが参加し、大変好評でした。

また、直孝公を知っていただくための「パンフレット」やまんが「井伊直孝物語」は、市からいた



今回インタビューに対応していただいた中里倶楽部の会長、副会長と河合議員（写真左）、四之宮議員（写真右）



直孝まんじゅう



「赤備えの兜や甲冑づくり」の様子  
(完成品を被った子どもたちの様子を表紙に掲載しています)

だいた補助金で計2千部を発行し、中里地域の全世帯、焼津市内の公民館、観光案内所、市の図書館などに配付しています。また、まんが「井伊直孝物語」の絵は、地元大学生に協力してもらい描いていただきました。

### 若宮八幡宮の400年祭に向けての目標は??

400年祭に向けて準備委員会が結成されたので、中里倶楽部もそれに全面的に協力していければと思っています。

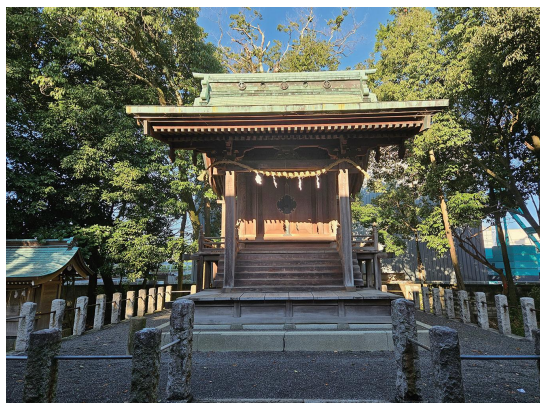
今のところは、若宮八幡宮の老朽化が進んでいるため、400年祭に向けて修復が必要と考えています。

修復にあたり、若宮八幡宮にどのくらいの価値があるのかがよく分からない、という声にこたえるために、浜当目に住んでいる伝統文化財（古建築）に詳しい久保山幸治様に協力していただき、井伊直孝公が寄進した若宮八幡宮の歴史的価値についての講演会を神社で開催したところ、ありがたいことに50人以上の関心のある方々が集まってくれました。

また、修復のための修繕費の寄付活動を、令和5年9月から行っています。

若宮八幡宮の歴史については、

まんが「井伊直孝物語」にも掲載されているので、是非ご一読いただければと思います。(下記2次元コードよりご覧いただけます。)



若宮八幡宮本殿（焼津市中里）

### 行政に期待することは??

地域の中で人と人との関わりが少なく無くなってきた中、それぞれの地域に内在している祭りの文化の普及を市が積極的にやっていただきたいと思っています。市内各地域にある祭り文化を、地域の皆さんで楽しむことで、隣近所の人と人の顔が見えるようになり、暖

井伊直孝公の半生と焼津市との関わりがよく分かる、まんが「井伊直孝物語」は下記2次元コードからご覧下さい。(市HPにリンクします)



かな人間関係はぐくまれることで地域防災や高齢化時代に役立つていくのではないかと思います。